

## RFL 関西実行委員会 2023 年 2 月 定例会 議事録【サマリ】

日 時：2023 年 2 月 5 日（日）13：15～17:30  
場 所：芦屋市青少年センター 第 1 研修室  
出席者：山田、時森（日本対がん協会）以上 zoom 参加、  
明路、城村、金山、高岡、竹内（佳）、須天  
進 行：金山、高岡、須天 ・記 録：須天、高岡

### 1. 前回以降の振り返り

#### (1) 前回定例会の振り返り（議事録の参照）

#### (2) 対がん協会の動き

##### ①2/26 日のサミット・キックオフについて

- ・9 時半より開始、芦屋からは申し出と推挙により金山、高岡の 2 名が参加、ほかに希望者がいれば募る。
- ・当日は青少年センター多目的研修室で zoom 参加、YouTube 視聴ができるようにする。

##### ②個人情報の取り扱いについて

- ・対がん協会での個人情報の取り扱いについての統括ルールを制定しようとしている。
- ・それに先立ち、各実行委員会の個人情報の収集状況や管理状況、要望を把握することとなり、そのアンケートを 2/9 に返信する。
- ・現時点で把握している個人情報を定例会で洗い出し、それぞれについて協会が求めるフォーマットで収集方法や管理方法、管理者、ルールなどを整理する。たたき台を作成し修正を ML で求める。（担当須天）
- ・実行委員会で収集・所有している個人情報、肖像権に関わるものについては以下が挙げられた（受付簿、それを整理したリスト、ウォーク参加者リスト、ラン参加者リスト、ボランティア参加者リスト、ルミナリエバッグ受付リスト、手形受付リスト、協賛・協力先リスト、領収書（控）、募金箱リスト、個人で募金された方々の記録、会計簿（備考欄）、HP で掲載しているリスト、写真、映像など）。

#### (3) 芦屋市、地元関連（挨拶、後援依頼、企画書、ボランティア依頼）

- ・協賛依頼書に添付する挨拶文、企画書、振込先案内について 2023 年度版を作成している旨の報告とその文案が示された。過去に作成された原案が踏襲されており、意見を募った上で随時ブラッシュアップする。
- ・社会貢献の勉強会に参加された着能さんが芦屋大学、甲南大学ボランティア担当者とコンタクトをとった旨の報告があった。同時に実行委員会としてボランティアに指示できる者を育成することの重要性、趣旨を伝えることの重要性について意見が出された。
- ・リードあしやの季刊誌封入に参加されたジメさんから、その場におられた方のうち RFL 芦屋を知っている方は 13 人中 3 名、参加したことのある人が 1 名であったことが報告された。あらためて周知活動を一層行っていく必要性を認識した。
- ・芦屋さくらまつりの開催は、コロナ前は例年土日で行われていたが、今年は 4/2（日）の 1 日だけ、かつ、18 時半までの開催となることが報告された。それにあわせて横断幕と掲示板ジャックを行うこととした。
- ・募金箱を設置いただいていたお店の閉店が数店あったことが報告されている。やむを得ないことではあるが、常日頃から状況を把握し、日頃から相互に連携がとれるようにしておくことの重要性について認識した。募金箱設置店に配布するカード、募金箱シールを早急に作成することをあらためて確認した。

### 2. 2023 年のイベント開催に向けてのフレームづくり

#### (1) イベントを構成する要素（継続コンセプト図）

- ・ツリー上に整理した継続コンセプト図で、コンセプト、イベントで少なくとも実施する項目（交流啓発企画、ルミナリエ、ウォーク、セレモニー）、そのために必要となるもの（情熱と人・お金・モノ）を確認した。
- ・それに対して、今後は今の人員を考えたときに体育館に集約して開催する方法を考えるべき、あくまでグラウンドでの開催を目指すべき（できることを吟味した上で）の双方の意見が出された。

- (2) イベント開催イメージについて（会場、時間枠）
- ・グラウンドで開催した場合のレイアウト図（案）、タイムテーブル（案）、会場のイメージ（写真のスライドショー）が示され、開催方針についてコロナ前の開催方式にチャレンジする（その姿を見せる）、その上で必要人員等を出し、できる内容を具体的に検討する、という意見でまとまった。
- (3) 工程
- ・上記を踏まえて、2月から4月にかけて、①交流企画の内容を具体的に検討、②ボランティア協力いただける団体にコンタクトをとり趣旨説明と協力依頼を行う、③地元および広域に対してRFLの意義を伝えRFL芦屋について案内を行う（そのための資料も作成する）を重点課題として挙げた。
  - ・交流企画については、あらたにリーダーを置く、もしくは検討するための体制を確立すること、そしてこれまでのようにかたり亭交流テント、かたり亭（サロン）、がん体験者の語り、星空☆教室のような流れにするか、あらたに流れを作り直すかどうかを含めて議論していくこととした。
- (4) 企画書、予算書、合意締結書作成について
- ・後援申請や対がん協会との合意書締結、助成金申請、関係各所への協力依頼を早期に行うことを念頭に、グラウンド開催を前提とした予算書の作成を月内に行うこととした。具体的には、2/14、15までに草案を作成（須天）、その後MLで意見を募り、2/25を目標に予算書を作成する。
3. 地元や未来の参加者、支援者への訴求や広報活動について
- (1) 地元支援者への協力依頼、広報（協賛・協力、人的支援両面でより一層協力いただくために）
- ・リードあしやでのチラシ掲示（登録団体や登録している個人、行政関係への訴求）を効果的に継続。
  - ・商工会青年部の新世代（現幹部）とのコンタクトと早めの打ち合わせ、協力依頼を行う。
  - ・市立芦屋病院の事務局長に早期にコンタクトをとり関係を再構築する。
  - ・その他アイデアを継続的に募集し、実践していく。
- (2) 過去の参加者に思い出していただくために
- ・「過去のスタッフ」への呼びかけ、「過去の参加者への呼びかけ」などのように対象者とメッセージを具体的にし、それに則した動画や記事を作成し、HPと動画を作成、Facebook、Twitter、MLを連動させイベント参加、ボランティア参加、スタッフ参加を呼びかける。
- (3) 未来の参加者にRFLやRFL芦屋を知っていただくために
- ①周辺住民に知っていただくために
- ・RFLの活動の趣旨をあらためて記載し、イベントで行っていることを書いたチラシを会場のイメージが湧くような写真を用いてあらためて作成し、HP掲載、掲示板への掲示、周辺地域へのポスティングを実施する。
  - ・まずは第一弾として、芦屋さくらまつりの前後1週間で横断幕の掲示と上記チラシの掲示板への掲示を行う。
- ②より広い範囲の方に芦屋を、そしてRFLを知っていただき興味をもっていただくために
- ・過去動画の切り抜きを作成し、HPに掲載、Facebook、Twitterと連動させて露出させる。
  - ・動画コンテンツの作成を含めて、継続的にRFLの意義を伝え、RFL芦屋のことを伝えるための企画を継続的に検討する。
4. 今後の予定
- ・2/9までに個人情報の収集、管理方法についてのアンケートを対がん協会に提出
  - ・2/14、15を目処に予算書（案）作成、意見を頂いた上で、2/25に完成させる
  - ・3/5（日）3月の定例会
  - ・3/26（日）（時間未定）横断幕の設置、掲示板ジャック
  - ・4/8（土）（時間未定）横断幕の撤収、掲示板ジャック（チラシの撤去）

以上